

# 下里風景街道

大森寺  
恒武天皇の頼願を言掛け  
伝孝父大師の南無と伝え  
うたっている熊野の名刺。  
尾捨山の中腹に建つ  
関南七薬師の霊場  
尾捨山の 模の葉も  
久しき等に 苔生いにけり  
柿本人麿

熊野古道大田路  
庄の坂・浦神峠を  
経て 浦神駅へ

那智勝浦町下里  
ハマボウの郷マツノ

太田川と平行して流れる  
江川流域と太田川の  
川口に多く見られます  
那智勝浦町ではこの他に  
湯川のゆかし郷周辺に  
群生しています。

ハマボウ  
アオイ科ハイビスカス属  
純国産 三浦半島から  
鹿児島までの太平洋岸  
の河口の土手に広く  
分布していたが  
コンクリート護岸が  
増えるに従って  
消えていった。

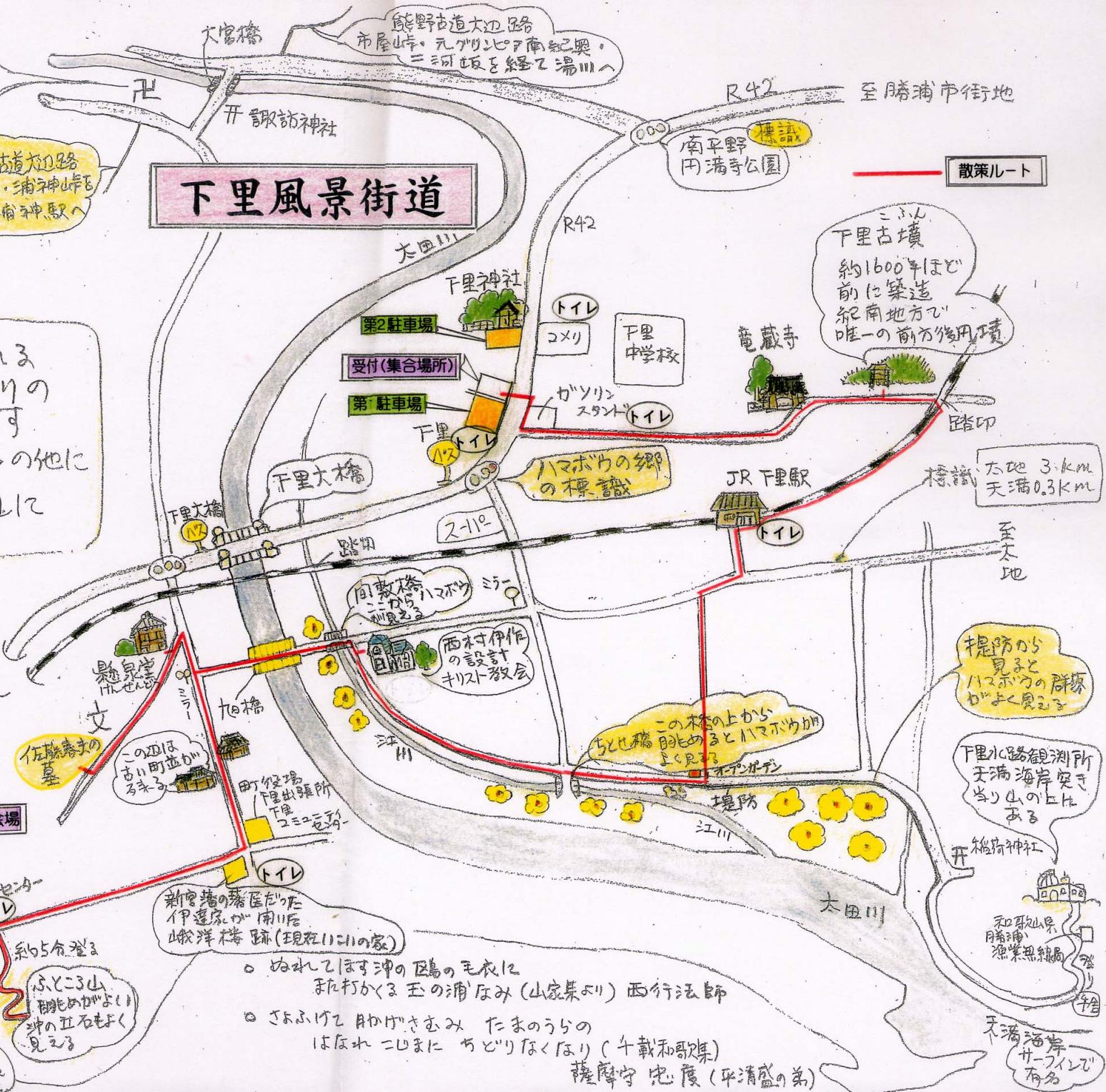
- ぬれてほす沖の 区島の 毛衣に  
私打かふる 玉の浦なみ (山家集より) 西行法師
- さふけて 月かけさむみ たまのうらの  
はなれこしまに ちどりなくほり (十載和歌集)  
藤原守忠度 (平清盛の弟)

玉の浦  
○ 万葉の歌に多く詠は  
れた遠景の美しい浜

昔 死体で流れて来た  
お姫様の箱に入っ  
た手紙に「なまま  
かに 暮せよ」とあり  
「腹から下痢を治し  
ましよう」と書いてあった  
人々は大切に葬りました

ふとこ山  
眺めがよ  
沖の石もよく  
見える

1999年7月現在  
このマップは那智勝浦



散策ルート

下里古墳  
約1600年ほど  
前に築造  
紀南地方で  
唯一の前方後円墳

た地 3.4km  
天満 0.3km

提防の  
見ると  
ハマボウの群生  
がよく見える

下里水路観測所  
天満海岸突き  
当り山の上は  
ある

和歌山県  
那智勝浦  
漁業無線

天満海岸  
カーブイン  
有名